

■ 適用範囲概要（詳細は認定書を確認してください）

（単位:mm）

床・壁構造(国土交通大臣が認定したもの)		床 ALC・コンクリート	床 コンクリート
国土交通大臣認定番号		PS060FL-0776	PS060FL-1043
壁・床 厚み		100以上	70以上
開口部	形状	スリーブあり*1	スリーブあり*2
		円形(φ200以下)	円形(φ160以下)
占積率 (開口面積に対する配管・ケーブルの断面積の総合計の割合)		63.0%以下	62.8%以下
配管種類	金属管 被覆金属管	被覆外径φ96 (金属管φ53.98、被覆厚20) 以下	
	アルミニウム管 被覆アルミニウム管 被覆アルミニウム合金管	被覆外径φ80 (アルミニウム管φ38.1、被覆厚20) 以下	
	硬質塩化ビニル管 被覆硬質塩化ビニル管	被覆外径φ100 (硬質塩化ビニル管φ60、被覆厚20) 以下	
	結露防止層付硬質塩化ビニル管	外径φ76、厚さ9.5 以下	
	断熱ドレンホース (外層・内層:塩ビ樹脂製) (断熱層:ポリエチレンフォーム)	外径φ37、厚さ6 以下	
	ドレンホース(可とうポリエチレン管)	外径φ22 以下	
	合成樹脂製可とう電線管(CD管、PF管)	PF管: φ45.5 CD管: φ48 以下	
	ケーブル(銅、ガラス繊維など)	総導体断面積159.5mm ² 、1本当たり 外径φ25以下(導体38mm ² 以下)	

※被覆とは、ポリエチレンフォーム、難燃ポリオレフィンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ウレタンフォーム、フェノールフォーム、合成ゴムフォーム(ニトリル、ブチル系ゴム)グラスウール、ロックウールを指します。

※金属管とは、銅管(JIS H 3300、JIS H 3320、JIS H 3401)、鋼管(JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、JIS G 3455、JIS G 3456、JIS G 3458、JIS G 3460)、ステンレス鋼管(JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)を指します。

※貫通穴径、配管外径から占積率を考慮して、サイズ選定してください。

*1…止水スリーブ径φ160以下。モルタル埋め戻し。

*2…止水スリーブ径φ160以下。コンクリート打設。